

事業番号	03 12 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	政策評価・公共事業評価費	部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課政策評価室				
		実施期間	H10～	E-mail	seisaku-hyoka@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策									

1 現状と課題

【政策評価】

社会課題が多様化・複雑化する中で、社会の環境変化、人々の意識の変化を敏感にとらえ、「県民から何を望まれているか」を起点として考え、機動的かつ柔軟に政策の見直しを行っていく必要がある。政策評価は、そうしたPDCAサイクルの基盤となることが求められている。

【公共事業評価】

限りある財源を優先度の高い事業に重点的に配分することで、最大かつ速やかに事業効果が発現できるよう、社会情勢などに適応した客観的かつ理論的な評価を行い、公共事業の一層の効率化を図っていく必要がある。

2 事業目的

【政策評価】

必要性、有効性、効率性、公平性及び優先性の観点から客観的な評価を行い、政策の企画立案作業における重要な情報として政策評価結果を活用する。

【公共事業評価】

事業着手前から完了後までの各段階において評価を行い、その結果等を公表することにより、公共事業の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を向上させる。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①政策評価の実施

- ・しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画、計画期間：2018～2022年度（H30～R4年度））の成果と課題を分析・検証するため、令和3年度までの取組実績を踏まえた政策評価報告書を作成
- ・県民への説明責任を果たし、翌年度以降の事業改善等に反映させるため、内部管理経費等を除く県の事業について事業改善シートを用いた事業点検を実施

②公共事業評価の実施

- ・令和5年度に新たに事業着手しようとする箇所について、事業の必要性、重要度、効率性、緊急性、計画の熟度の視点から評価し、事業採択の判断に活用
- ・継続中、完了後の箇所について評価を行い、必要に応じて事業の見直しを行うとともに、同種事業の実施のあり方に反映
- ・評価の客観性、公平性を確保するため、長野県公共事業評価監視委員会から意見を聴取し、評価に反映

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	指標なし										

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	1,243	0	1,243	1,243	999	2.0
R3年度	0	1,493	0	1,493	1,493	413	2.0
R2年度	0	1,660	0	1,660	1,660	605	2.0

事業番号	03 12 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	政策評価・公共事業評価費		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課政策評価室

6 主な取組実績と成果

①政策評価の実施

- ・しあわせ信州創造プラン2.0における8つの「重点目標」、6つの「政策推進の基本方針」とそれを構成する32の「重点政策」及び10広域圏ごとの「地域計画」について、指標のグラフ化など視覚的に分かりやすいレイアウトを心掛けながら成果と課題を分析し、政策評価報告書を作成。全部局計233事業の事業点検結果とともに、令和4年9月16日に県ホームページ等で公表した。
- ・予算編成から事業実施後の点検、監査及び決算に至るまで、共通の様式で県の事業内容を説明するための「事業改善シート」について、令和5年度当初予算用の様式から、事業の必要性や目的が明確に伝わるよう記載事項を分かりやすく整理する見直しを行った。

②公共事業評価の実施

- ・長野県公共事業評価監視委員会を5回開催し、うち2回は現地調査を実施した。現地確認後の詳細審議などの結果をとりまとめ、長野県知事に意見の具申を行った。
- ・県が新たに取り組む事業の評価手法について、より客観的で透明性のある評価とするため、事業実施の『妥当性』と『優先度』の2つの視点から評価を行う手法に見直し、令和5年4月1日から制度の改正を行った。
- ・事後評価についても、事業実施の効果がより分かりやすくなるよう様式の見直しを行った。

令和4年度政策評価報告書(概要ページ)



長野県公共事業評価監視委員会現地調査



長野県公共事業評価監視委員会審議

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標① 指標なし	R3年度推移	R4年度推移	達成状況
----------	--------	--------	------

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

【政策評価】

- ・政策評価報告書については、指標の増減分析にとどまり、実施した施策・取組との関連性についての記述が不十分な例があったため、県の施策・取組がそれらの目的を代理的に表す成果指標の改善につながったのかどうかの因果関係に着目して分析を行っていく必要がある。
- ・事業改善シートについては、当初予算（補正予算）時に計画していた事業内容に対して、事業実施後の成果と課題の分析、さらには、県民や事業者からの意見等も踏まえた具体的な事業改善の方策を事業担当課自身が具体的に記載できるよう、事業点検用事業改善シートの様式の改正を行い、庁内に作成の意義や方法を周知していく必要がある。

【公共事業評価】

- ・新規評価について、必要性、重要性、効率性、緊急性、計画熟度の視点で評価を行っていたが、事業実施の「妥当性」と「優先度」の2つの視点による評価手法へと見直しを行った。令和5年度から運用する中で、よりよい制度になるよう適時適切な改善等が必要である。
- ・新規評価90か所（補正含む）、再評価13か所、事後評価9か所の評価を実施したが、記載の統一が図れていない箇所があったため、記入例を整理し周知を図る必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

【政策評価】

- ・しあわせ信州創造プラン2.0の最後の政策評価報告書の作成に当たり、実施した施策・取組が成果指標の改善に結びついたかどうかについて評価・分析できる様式に改正するとともに、当該評価結果をしあわせ信州創造プラン3.0における政策立案に活用していく。
- ・令和5年度事業点検用の事業改善シートについて、(1)の課題を踏まえた様式改正を行い、事業課の担当者も作成の意義や方法を確認できるよう、解説動画を作成して庁内で共有する。

【公共事業評価】

- ・新たな新規評価手法による評価を実施する中で、制度の改善点等の整理を行い、よりよい制度になるよう適時適切に見直しを行っていく。
- ・様式の記載に当たり統一を図るため、記入例を整理し事業課の担当者に周知するなどにより、適切な評価に努める。

事業番号	03 12 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	政策評価・公共事業評価費		部局	総務部	課・室 コンプライアンス・行政経営課政策評価室

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	政策評価・公共事業評価費		605 千円	413 千円	999 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）の政策評価	直接	しあわせ信州創造プラン2.0の政策評価報告書を作成するとともに、全部局・全事業の事業改善シート（令和3年度実施分）を点検し、令和4年9月16日に公表 政策評価報告書の作成：1巻、事業改善シートの点検：233事業		
2	長野県公共事業評価監視委員会	直接	・長野県公共事業評価監視委員会の運営、開催 ・公共事業評価見直しに係る有識者意見聴取 委員会開催：5回（うち現地調査2回）、制度見直しに係る有識者意見聴取：5回		